

リハビリテーション研究法特論 (研究計画)

[講義] 第 1 学年 前期 必修 2 単位

《担当者名》 下村敦司 shimo@hoku-iryo-u.ac.jp 大須田祐亮 osuda@hoku-iryo-u.ac.jp 永見慎輔 nagami@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

研究を行う上で必要な基礎知識と研究の進め方を学ぶ。

【学修目標】

一般目標：研究の方法と意義、さらに研究の進め方とその実際を理解する。

行動目標：

1. 研究の意義や目的について説明できる。
2. 研究デザインと倫理的配慮について説明できる。
3. 必要な研究資料を調べることができる。
4. 研究論文を読みクリティカルレビューを行うことができる。
5. 論文投稿と論文査読の実際を説明できる。
6. 研究費獲得の実際を述べるることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 研究概論 (1)	研究とは	下村敦司
2	研究概論 (2)	研究テーマの選定、研究の進め方、研究仮説の立て方	下村敦司
3	研究の基礎 (1)	対象者の選定	下村敦司
4	研究の基礎 (2)	評価因子の選択	下村敦司
5	研究の基礎 (3)	測定値 (概論、信頼性、妥当性)	下村敦司
6・7	研究の基礎 (4)	統計処理の実際	永見慎輔
8・9	研究に関する情報収集	論文の検索、読み方 (PIC0) とクリティカルレビューの概説	大須田祐亮
10・11	クリティカルレビューの実際 (1)	基礎医学研究論文の輪読	永見慎輔
12	クリティカルレビューの実際 (2)	臨床医学研究論文のクリティカルレビュー実践	永見慎輔
13・14	研究の実際 (1)	科学論文投稿の実際 / 科学論文査読の実際 科学研究費の種類と申請	大須田祐亮
15	研究の実際 (2)	研究倫理と倫理審査 / 研究計画書の書き方 科学論文の書き方 / まとめ	大須田祐亮

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部 (研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート課題 / プレゼンテーション 100%

課題またはプレゼンテーションについて、多かった誤りまたは特に注目する問題点があった場合には要点を掲示する。

【教科書】

最新理学療法講座 理学療法研究法 対馬栄輝編著 医歯薬出版 2021

【参考書】

Portney L 他 著 「Foundations of Clinical Research: Applications to Practice」 Pearson 2008年

野口ジュディー 他 著 「Judy先生の英語科学論文の書き方」 講談社 2015年

内山靖 他 編 「理学療法研究法」 医学書院 2013年

岩本隆茂 他 著 「シングル・ケース研究法：新しい実験計画法とその応用」 勁草書房 1990年

森本剛 著 「医学論文のための研究デザインと統計解析」 中山書店 2017年

Dawson B 他 著 「医学統計データを読む 医学・医療に必要な統計学活用法 第3版」 メディカルサイエンスインターナショナル 2006年

福原俊一 「臨床研究の道標」 健康医療評価研究機構 2013年

神田善伸著 EZRでやさしく学ぶ統計学 EBMの実践から臨床研究まで 改訂第3版 中外医学社

【備考】

1. 授業に関わる連絡、授業資料の配信、学習課題の提示
 - ・ 授業に関わる連絡はmanabaまたはi Portalを利用する。
 - ・ 資料の配信はmanabaまたはGoogle Classroomを利用する。
 - ・ 学習課題の提示はmanabaまたはGoogle Classroomを利用する。
2. 授業に関する意見交換
 - ・ manabaまたはGoogle Classroomを利用する。

【学修の準備】

予習は、関連の文献等関係資料を各自調査し理解に努めること(80分)。

復習は、プリント、講義メモを活用して学習を深めること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: リハビリテーション領域における高度な知識および技術を修得し、対象者が抱える諸問題に対して、科学的根拠に基づいた質の高い臨床実践を展開できる問題解決能力を身につけている。

【実務経験】

大須田祐亮(理学療法士)、永見慎輔(言語聴覚士)

【実務経験を活かした教育内容】

大須田祐亮、永見慎輔: 実務経験を活かして、臨床と研究の接点の理解が深まる講義を行う。